



平成22年度事業報告書

◎ネパール事業

- ・エル・エンジェル校運営継続
(ラマチョール村)
給食支給継続
英語図書の補充・パソコン追加
生徒招聘
- ・ゴルメスワリー校 (ナヤガン村)
運営協力継続
ミルク・肝油の支給・医療ケア
- ・ドリケル校 (シュリ・マンダリ・テビ校)
教室増設・トイレ設置・机とイス購入
- ・マヘンドラ校文具支給
- ・4校生徒に文具支給

◎インド事業

- ・エル・エンジェルチャイルドホーム
(スリカラム)の孤児院運営・訪問
- ・バラオム村診療所運営支援

◎国内事業

- ・エル・エンジェル校 生徒招聘
国内滞在中のサポート
- ・小学校における講演
- ・活動に必要な支援金の確保
- ・「ボランティア便り」の発行・配布

皆様のご協力のお蔭で上記の事業を行うことができました。

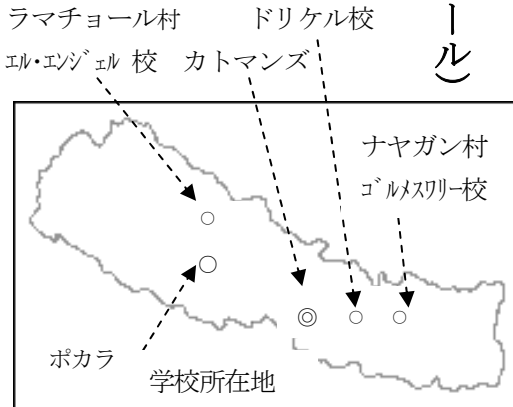
心より感謝申し上げます。

3月を年度末にしておりますので収支報告は6月頃致します。

皆様のご協力を得て二十二年度の事業を予定どおり行うことができました。ネパール・インドは経済的に発展の様子が伺えますが、それがますますの貧富の差を生み私たちの助けが必要とされています。今後もボランティアの手ごたえを皆様と共に感じたいと思っています。

ゴルメスワリー校 (ネパール)

十一月の訪問時、生徒と先生が花の首飾りをかけてくれ多くの村人たちと出迎えてくださいました。両国の国歌斉唱の後、三人の女の子が歓迎の踊りを踊ってくれました。校長先生から長年の支援に対し感謝状を当協会に戴きました。皆様よりご寄付頂いた品物を、生徒達にお土産として配りました。



我欲という重い重いコートを脱いだらとてもとても楽になる。体をゆったり、こころもゆったりと。

家族までも変えた

皆様のお力

ゴルメスワリー校の病気の子ども家族の変化を知り、ボランティアにご協力を賜りますみな様お一人おひとりに足を運んでも御礼申し上げます。気持ちでいっぱいです。

寄付金を戴いたり、支える会の方へテレホンカード、葉書、切手、商品券、また、バザーのお品物をお寄せいただく等たくさんの方のお心のお陰でこの報告ができますことを御礼申し上げます。

カリエスの手術をした少女は、まだコルセットをしたままですが、コルセットの取替えが必要となるほどに背も伸び、とても元気でした。

少女の家族は両親と弟二人の五人家族ですが、父親がアルコール依存

症のため母親が日雇いをしての生活のため食べることに窮していることを知り、毎月お米と豆を届けてきました。

今回、学校を訪れたとき少女の父親の姿がこれまでと違っているのです。これまでは、突然現れてプレゼントのの中身を見るだけでサツと逃げるように帰ってしまっていたのですが、今回は校庭に入りパンを配る手伝いをしたり、ゴミを片付けたりと、手伝いを一生懸命しているのです。あまりの変りように、先生や村の人に聞いてみましたところ、

「彼は『見ず知らずの日本人がこれほどまでに自分たちのことを考えてくれ、それもその時だけかと思っていたが、こうしてずっと続けてくれるのに自分はこのままアルコールに溺れていけない。』と言って、日雇いですが働き出しました。」とのことでした。

みな様の温かいお心が届き、この家族に笑顔を取り戻すことができそうです。

「継続は力なり」、そんな言葉がよぎります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



大切な一杯の牛乳

昨年ボランティア便りで「コップ一杯の牛乳」小さな弟二人と牛乳を大切そうに一口ずつ順番に飲んでいた女の子を紹介させていただきまして。この一年、会えることを楽しみにしていました。出迎えの列からも、お土産を渡す列の中からも探せず、家の仕事の為、学校をやめてしまったのかしら・・・女の子は口減らしの為売られていく可能性もあるけどまさかそうであつて欲しくない、と祈るような思いでいた時です、大勢の子ども達の中で、動きがちがう子どもがいました。小さな弟二人を連れてくる女の子、手には牛乳の入ったコップと空のコップを大切に抱えゆつくりこぼさないように人だかりの中を歩いていきます。捜していた昨年の女の子でした。校庭の隅まで行って二人の弟に牛乳を分けていました。お土産のパンも弟たちはとても嬉しそうに食べ、彼女が見守っています。

幼いながら母親のような彼女の優しさに胸が熱くなりました。

もう一つの

昨年、顔の大きさ程あるお土産のパンを大きな口をあけて、おいしそうに笑顔で食べていたナーサリー（幼稚園）の小さな男の子。あまりにも嬉しそうなので、その子の写真をお土産の部屋に飾っています。今年も

お土産の二個のパンをおいしそうに食べているその子の写真を何枚もとりました。牛乳を飲み終わった彼を見て思わず微笑みまた何枚も写真を撮りました。飲み終わっても彼はそのコップをグルグル回しながらペロペロ舐め続けているのです。とっても嬉しそうに・・・まるで「最後の一滴も残さないぞ！」とばかりにです。彼にとつても「大切なコップ一杯の牛乳」なのでしょう。



おいしかった～ ペロリ

おじいさんどこへ行くの

山奥で道の整備されていないゴルメスワリー校に行く為ジープに乗ります。ジープで険しい山道を走っている時、肢体不自由の松葉杖をついたおじいさんが急坂でデコボコした道を一步一步踏みしめながら歩いていました。「どこに向かっているのだろうか？まさかゴルメスワリー校（？）でもここからかなりの距離だからそんなはずない」そう思いながらも、気になるため、何度も車窓からおじいさんのことを見えなくなるまで姿を追っていました。学校に着き、イベントを終え、最後に村人へ

のお土産を配っているところで、そのおじいさんがもらっているのに気付きました。やはり「ここにくるつもりだったのだ・・・車を止めて、行き先を聞けばよかったのに・・・」そうしなかった自分が申し訳なく思いました。ネパールの駐在員さんがそのことに気付き、帰りは車で途中まで送ることができました。

飢えに苦しむ子ども、働く子ども、医療の必要な人々、多くの出会いがあります。ネパールでは日本で当たり前生活していることが、あたりまえではないこと。その環境を受け入れ懸命に生きている人々の姿に感動します。

十一月のボランティアツアーには是非参加して体験してみませんか。確かなボランティア団体であることにきつとご安心いただけることでしょう。

修学旅行

夢のカトマンズ

朝四時起きの子ども達、山奥のナヤガン村よりカトマンズのホテルにバスで到着しました。約一時間、庭で記念写真を撮ったり、庭園を散策したりしました。初めて見るホテルの立派さやプール・噴水等に目を丸くしていました。初めての都会に来るにはポロポロの制服ではかわいそうと、子どもの心を思い支給された新しいジャージとブラウスを着てサンダルを履き、きれいになったという自分の姿に自信を持ってさえるようでした。一人ひとりに

お財布と五〇〇ルピーのお小遣いを渡すと、ことさら嬉しそうでした。ボランティアさんが一人ひとりを担当して一日行動しました。猿寺を観光、信仰心の強さを感じました。レストランで食事、初めて見たであろうたぐささんの料理をバイキングで何度もお代わりをし、はじめてのアイスクリームに大はしゃぎ、子ども達へのプレゼントを渡して記念写真を撮りました。



デパートで社会見学、初めてのエレベーター・エスカレーターに大はしゃぎ、マネキンを見てビックリ、まるで遊園地気分。

（つい昨年までこういった建物もなかったのにと私達もカトマンズの発展に目を見張るばかりでした。）

最後に家族へのお土産をお菓子屋さんでショッピング。

「みんなに分けられる大袋のものを購入した子もいましたが・・・いくら勧めてもなかなか買わない子のほうがほとんどでした。ネパールの平均月収3000ルピーの現実、カーストの低い貧しい村では収入はもっと少なく、五年生とはいえ、普段の生活の中でお金の価値はいやというほどわかっていきます。子どもにとって500ルピーはと



レストランでバイキング

ても大金です。修学旅行に來れた自分はとても幸せで、それだけで充分だと。これだけのお金があったらどんなに生活のために使えるだろう。お母さんが喜ぶだろう。お母さんの役に立ちたい。お金を手にしたとき、お母さんの顔が浮かんだのではないのでしょうか。子ども達はだれに教わることもなく、心からそう思ったのだと思います。一つ、二つしか買わない子どもの姿を見たとき、子ども達の思いが痛いほどわかり、本当は欲しいだろうと思いがながら可愛

いキャンディを買ってお土産に渡すと、とても喜んでいました。」

お別れの時間があつという間にきて笑顔一杯大きく手を振り、帰って行く子ども達、一生の宝物になる思い出ができたのではないのでしょうか。

ボランティアさんも「この子うちの子よ」と、子ども達に対し今まで以上に親近感をもつことができた修学旅行でした。

優しい心

ゴルメスワリー校五年生の生徒がお洒落をして大都会カトマンズにやってきました。かなり緊張していたのでしょうか、最初はほとんど笑顔も会話も少なく、バスの窓からじつと外を眺めていました。

最初に訪問した猿寺で、ジュースをいただき、かわいらしい猿を見て少しずつ笑顔を見せるようになりましたが、まだ表情が硬く楽しんでくれているのか不安でした。

お昼はレストランでバイキング。やり方を教えると、見よう見まねで上手に盛り付け、一人は鼻の頭にカレーがついたのも気づかないほど夢中で頬張り、もう一人の体格の良い通称「ジャイアン君」は同級生に笑われるくらい大盛りのお代わりをしました。

この頃からカメラを向けると満面の笑顔で答えてくれるようになりました。無邪気に食べる子供たちがとても愛おしく、自分が子供の頃にも親は同じ気持ちでニコニコしながら、見守ってい

てくれていたんだと気づかせていただきました。

ショッピングでは、お金を残そうとしていのか、ほとんど買物をしなかった彼が、時間が残り少なくなってきた頃、量り売りのジャム一袋五ルピー（約八円）を二つ購入し、一つはバックに入れ、もう一つを私にくれるというのです。

彼らにとってのお金は、私の想像を遥かに超える程大切なものだと思います。その大切なものを自分のためではなく人のために使おうとする、なんて清らかなお心なのでしょう。

心が通じ合うのに必ずしも言葉は必要ないのだと思いました。子供たちの笑顔や手の温もりを忘れず、遠く離れた日本でも子供達を思い続けたいと思いました。

私は子供がおりませんが、ほんの数時間でも母の思いを体験させていただけた大変貴重な経験でした。このような機会を与えていただき本当にありがとうございました。（E・K）



買ってもらったお土産を持って

孤児院便り

（インド）

料理を習いました

○タラシラホテル（ビシヤカパトナム）の料理長ミスターマナス氏がスリカラムの孤児院にきて、子どもたちに料理を教えてくれました。

野菜の切り方やカレーの作り方を習い、とても大喜びしました。

○三月からファイナル試験が始まるため、遅くまで勉強を頑張っています。

○皆様のご支援のお陰で子供達はホームを我が家のように思い仲良く過ごしています。インドはすごい勢いで物価が上昇していますが、将来『あのホーム出身の子たちを是非採用したい』と言ってもらえる子になって欲しいと願っています。



料理長による料理講習会

お便り紹介

私は茅ヶ崎でピアノ講師をしている者です。昨年からはエル・エンジェルさんの活動に協力させていただいておりませんが、今年は知人にも声をかけまして送らせて頂きます。

ピアノの生徒さん達は幼い子が多いのですが、可愛がられ、愛され、着かざる楽しみも十分許されております。この度、髪飾りのお話を読ませて頂き、感ずることもあり、娘二人にも力を借りてシュシュをいくつかつくりました。多少日本文化も含んだ布を使いました。喜んでもらえると思います。

スタッフの皆様お体に気をつけて、ご無事な旅をお祈り致します。(K・S)

こんにちは。だいぶ時間が経ってからの寄付ですみません。以前から国際協力に興味があり、自分の出来る範囲で貢献できたらと思いい、職場や友人、子供達から、最も支援を必要とされている方に送って欲しいと受け取りました。何か私に出来ることがあればご連絡ください。(Y・A)

講演そしてプレゼント

杉本小学校

平成二十二年十二月二十一日

日ごろより当ボランティアに協力をいただいています。海老名市立杉本小学校の生徒さん達に、ネパールの事情や、当協会の支援内容等を写真で写真を見ていただきながら、約三十分のお話をさせていただきました。生徒さん達は大変熱心に目を、耳を傾けてくれ、質問もいくつか受けました。『私達に出来ることはなんですか』『ネパールの子は何を持って行ったら喜びますか』等々でした。子供さん達同志の純粹な心の交流が広まり、世界の人々との交流が深まり、次世代の人々が平和な地球を造り上げてくれる礎石になれるボランティアでありたいと願います。

南毛利中学校より

毎年生徒招聘の折に、エル・エンジェル校生徒を連れ南毛利中学を訪問させていただいていました。去年はインフルエンザの流行などで訪問できずにいましたのに、生徒さん達の優しい心がつまった、たくさんのぬいぐるみが当協会に届きました。

十一月にネパールを訪問する時に持って行き子供達に手渡す予定です。ネパールの生徒を思いやって下さりありがとうございます。

ボランティアさんの感想

修学旅行の時、不安だったのか、なかなか笑顔を見せてくれず、ずっと私の手を握って離れない様にしていた子が猿寺に行った時に「アイムハッピー」と言ってくれました。とてもうれしい言葉を聞く事がこんなにも嬉しい事なんだと改めて感じる事ができ、ステキな経験をさせていただきました。(K・A)

支える会より

フリーマーケットの日程

- 四月九日 (土) 湘南なぎさ市
 - 四月九日 (土) イオン大和店
 - 五月七日 (土) ポッポ町田
 - 五月十四日 (土) 湘南なぎさ市
 - 五月十四日 (土) イオン大和店
 - 六月十一日 (土) イオン大和店
- 新品雑貨・衣料・アクセサリー
手作り品を集めています。

○今年もうさぎ年です。可愛いうさぎのストラップ、とても好評です。その他・鏡・筆箱など色々なスイーツデコを作ってみました。職場やサークル仲間、ホームパーティーで販売されてみませんか？商品は送らせていただきます。ご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

編集後記

今年度もたくさんの方々のお心で子供達笑顔一杯でした。来年度も皆様のご協力を頂きたく、よろしくお願い申し上げます。(S)